

須崎市小中学校統合計画説明会でいただいたご意見等 【要約版】

No.	意見等の概要	市の考え方
説明会に関すること		
1	<p>①小中学校や保育園の保護者、地域住民を対象に説明会をしてほしい。</p> <p>②開催日時や開催方法に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間は参加しにくい ・時間帯を変えたり休日の開催はできますか ・地域の参加者が少ないが周知はできているのか ・コロナ禍による短時間開催のため意見を言う時間が無い ・参加者が多いと意見を言いにくい ・Zoom開催をしてはどうか <p>③説明会の資料の内容や説明方法に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者への説明会資料は簡易版ではなく通常版がよかった ・資料にパブリックコメントの結果が載っていない ・資料のメリット、デメリット（メリットをもっと具体的に多くすれば賛成しやすい。具体性に欠けている。きれいごとばかり書かれている。） ・今後はICT教育が要となるので、須崎市が具体的に取り組むビジョンを載せるとよい（※その他資料内容に関する改善提案や指摘多数あり） ・説明が（「ご理解くださいばかりで中身がない。」「以前から進んでいない。」「もっと地域で語ってほしい。」） ・説明の伝え方、進め方をわかり易く具体的にしてもらわないと理解は得られない <p>④説明会で出された意見を公表してほしい。答えを返してほしい。</p>	<p>①全体で41回説明会を開催させていただきました。</p> <p>②保護者説明会は、PTAや保護者会の総会の場にお伺いする方法としました。地域説明会は、個々の日程調整は困難ですので、市が日程を決めて、地域の公民館だよりと防災無線で周知をして開催しました。「意見を言う時間が足りない」との意見があった場合は、日程調整をしていただければ再度説明にお伺いする対応としました。zoom開催の提案をいただきましたが、Wi-Fi環境がない家庭もありますので、通常の開催方法としました。</p> <p>③保護者説明会の資料は、コロナ禍による時間短縮での開催のため、簡易版を使用しました。携帯電話で資料表紙に掲載しているQRコードを読み取っていただくと、通常版の統合計画をご覧いただける方法としましたので、ご了承ください。説明会の資料の内容や説明方法について、多様な意見をいただきました。できるだけ、お答えするよう努めていきます。</p> <p>④説明会で出された意見等は、須崎市ホームページと各公民館に掲示しています。</p>
統合後の具体的な内容を示すべき		
2	<p>①統合計画に具体的な内容が示されていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛成も反対も言えない ・納得できない ・全てを予算化して計画すべきではないか ・統合後の学校名、校歌、校章、制服、通学方法、部活動などはどうなりますか <p>②中学校2・3年生で統合した学校に移る生徒は、新しい制服を購入するのか。</p> <p>③統合後に空き校舎となる施設（グラウンド、体育館などを含める）の活用方法を考えていますか。</p> <p>④総合学習で地域を知る授業、地域の人と触れ合う授業がありますが、統合するとそれぞれの出身地域での授業は難しいかと思いますが、どうなるのでしょうか。</p> <p>⑤地域の伝統的なお祭りへの参加について、現在は学校の協力で、欠席扱いとならないように参加できるが、統合後はどうなるのか。</p>	<p>①市が統合計画の詳細を全て決定して進める方法も一つの方法とは思いますが、統合方針を決定して、統合後の学校名、校歌、校章、制服、通学方法、部活動など具体的な内容は、保護者や地域住民の代表者、学校関係者で構成する「統合準備委員会」で、ご意見をいただきながら決定していくことが望ましいと考え、そのように進めていますので、ご了承ください。</p> <p>②できるだけ保護者の負担にならない方法を検討したいと考えています。</p> <p>③市が決定している活用案はありません。統合後に、地元から活用案をいただきながら決めていきます。</p> <p>④⑤学校の授業の組み立てが必要ですので、学校との調整になります。例えば多ノ郷小学校は南小学校と統合しますが、お互いの地区で学習してお互いの地区を知れるような取り組みを是非してもらいたいと考えています。出身地域の伝統的なお祭りについても、学校と調整のうえ参加できる体制をつくりたいです。</p>

須崎市小中学校統合計画説明会でいただいたご意見等 【要約版】

No.	意見等の概要	市の考え方
3	<p>通学方法について（スクールバスなど）</p> <p>①スクールバスについて ・遠方の児童生徒の通学はスクールバスですか ・運行計画は決まっていますか ・部活動後の便もありますか ・本当に市内全域の運行ができますか ・須ノ浦地区は南岸で時間がかかるので須ノ浦地区まで来てほしい ・遠方の児童生徒は通学だけでも負担になる ・浦ノ内は遠方のため、朝早から遅い時間帯までのスクールバスの本数確保、バスの待機場所(校外なら防犯カメラやライト等の設置)の確保を希望する</p> <p>②自転車通学について ・須崎中学校区からの自転車通学は可能ですか ・通学路は決まっていますか ・自転車通学を認めるのは学校ですか</p>	<p>①遠方の児童生徒の通学は、スクールバスを想定しています。スクールバスの停留場所や発着時刻、部活便を含めた本数などについて、「統合準備委員会」で保護者のご意見をいただきながら、児童生徒にできるだけ負担がかからない運行計画を作っていきます。</p> <p>②可能な児童生徒は自転車通学を考えています。自転車通学の基準や通学路につきましては、保護者の皆様からご意見をいただきながら、要望に応じて決定していきます。</p>
4	<p>津波の心配</p> <p>①浸水区域であることを理由に統合する学校がありますが、なぜ、須崎小学校は存続するのですか。</p> <p>②須崎中学校に関すること ・どこまで津波がきますか ・避難場所は斎場ですか ・学校を存続する場合も津波対策はしてほしい</p> <p>③朝ヶ丘中学校は浸水区域ではありませんが、親としては少し低いのではないかと心配している。</p> <p>④上分は津波が来ませんが、朝ヶ丘中学校に通学となると、浸水区域を通るので危ないと思いますが、どう考えますか。</p> <p>⑤防災教育はぜひやってもらいたいです。</p> <p>⑥須崎市は避難所もまともになく広域避難しないといけないのによく防災教育と言える。</p> <p>⑦道路が寸断されたら広域避難は無理だ。</p> <p>⑧朝ヶ丘中学校に統合した場合、地震発生後の事態についても想定はしているのか。統合し人数が増えることで備蓄関係や退避場所、帰路についても想定しておくべきではないか。</p> <p>⑨浸水区域を理由として統合する学校があるのなら、新図書館を浸水区域に建てるのはおかしいのではないか。</p>	<p>①浸水区域ですが、すぐ裏に緊急避難場所がありますので、安全確保は出来ると考えています。</p> <p>②津波は想定で約5～10m（旧須崎高校の3階程の高さ）です。避難所は斎場に行く途中にも避難広場があり、3ヶ所の避難道があります。</p> <p>③朝ヶ丘中学校のグラウンドで海拔31.466mあり、ハザードマップでは浸水区域外となっています。</p> <p>④市内各地から通学するため、そうした状況がどうしても生じ、自然災害は避けては通れないと考えています。そうした状況になった時に、自分の命を守る防災教育をしていくことに尽きると考えています。</p> <p>⑤防災教育は現在各校で取り組んでいますが、その時の状況で最も適切な判断で命を守ることができる取り組みをしていかなければならないと考えています。</p> <p>⑥津波が来て一時的に避難する場所は確保できていると思っています。広域避難はその後の生活を保っていくということですので、分けて考えてください。</p> <p>⑦学校統合と広域避難の問題は別です。学校でやっている防災教育について説明しています。</p> <p>⑧防災課と協議して、対策を進めます。</p> <p>⑨図書館を含む複合施設は、市街地の振興という側面も含めて計画をして進めています。学校統合とは別の考え方ですのでご理解をお願いします。</p>

須崎市小中学校統合計画説明会でいただいたご意見等 【要約版】

No.	意見等の概要	市の考え方
給食について		
5	<p>①須崎中学校と朝ヶ丘中学校は給食がありませんが、統合後の中学校の給食はどうなりますか。</p> <p>②給食センターに関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政的に建設は可能ですか ・学校統合とセットですか ・アレルギー対応はできますか ・自校方式を残してもっと食育を考えればよい ・自校方式の方がおいしいと思う 	<p>①～②市内小中学校の給食は、小学校は完全給食ですが、中学校は須崎中学校と朝ヶ丘中学校は給食がありません。また、各学校の給食棟は非常に老朽化が進んでいます。そのため、給食センターの建設を進めています。財源はふるさと納税でいただいた寄附金を積み立てています。学校統合とは別の事業ですが、条件整備として、できるだけ早く給食を提供できるように進めたいと作業をしております。基本的なアレルギー対応は実施しますが、対応が困難な場合は保護者の方に協力をお願いする場合があります。</p>
部活動について		
6	<p>①新たに部活動を増やす検討はしていますか。（カヌー部、プログラミング部、英語部等）</p> <p>②部活動の選択肢が増えたり、連合チームが解消されるのは良い。</p> <p>③既存の部活動に外部コーチを登用するなどして強いチームを作る仕組みを考えてみてはどうか。</p> <p>④現在各校にある部活動は統合しても存続されますか。</p> <p>⑤中学校が1校になると、市内での対戦ができなくなる。</p> <p>⑥中学校が1校になると、部員が増えるのでレギュラーになれず、面白くないと思う生徒がでてくると思う。</p> <p>⑦遠方は、帰宅時間が遅くなるので心配する。</p>	<p>①～④統合とは別の場で、部活動の地域移行について議論を始めています。先生が忙しい原因の一つに部活動の指導があるため、長時間労働を改善するためにも、地域移行が必要と言われていました。新たな部活動の創設や既存クラブの存続について検討しておりますが、指導者や活動する施設、移動手段等の環境の確保が必要となりますので、生徒や保護者の意見も聞きながら検討していきます。</p> <p>⑤～⑥中学校が1校になれば市内での対戦はできませんし、レギュラーになれない生徒も出てくると思いますが、日頃の練習は多い人数で切磋琢磨できる環境になると考えています。</p> <p>⑦スクールバスの部活便を協議する際にご意見をいただきます。</p>
統合後の中学校施設について		
7	<p>①統合するなら高台に新設してはどうか。</p> <p>②現在の朝ヶ丘中学校は建て直しますか。</p> <p>③統合後の中学校の改修案を示してほしい。</p> <p>④自転車通学が増えるので現在の自転車小屋に入らない。</p> <p>⑤朝ヶ丘中学校のグラウンドでは、統合により部活動の部員が増えると面積が不足するのではないか。</p>	<p>①統合後の中学校施設は、津波が来ない高台に新設できれば一番いいのですが、須崎市の地形では山を切って整備をしないと適地がありません。高台開発も議論していますが、現時点では実現の見通しは立っておりません。</p> <p>②～④計画では、朝ヶ丘中学校と須崎中学校に必要な工事をして、条件整備をしたいと考えています。給食受入れ口の整備などを予定しています。</p> <p>⑤第2グラウンドの確保を検討しています。</p>

須崎市小中学校統合計画説明会でいただいたご意見等 【要約版】

No.	意見等の概要	市の考え方
8	<p>いじめ・不登校の課題</p> <p>①全国で不登校やいじめは増えている。人数が少ない環境から多い環境に変わると、子どもたちはストレスを感じるのではないか。いじめなどにより、学校に行きたくなくなる子どもが増えるのではないか。</p> <p>②中学校が1校になると、いじめや病気で勉強についていけない場合はどうなりますか。転校もできない。学校以外に具体的に施設等がありますか。</p> <p>③不登校問題は統合すれば顕在化するのでは統合計画に入れるべきではないか。</p> <p>④不登校問題について、朝ヶ丘中学校は子どもたちにどのようにしているのか。学校が大きくなったら様々な課題が出るかと心配する。</p> <p>⑤子どもと先生との信頼関係は重要なので、小さい学校なら一人ひとりに寄り添い対応ができるのではないか。</p> <p>⑥初期対応で保健室や別室対応の子どもたちがいると、先生が1人配属では先生の負担も大きくなる。</p> <p>⑦教育支援センターへの交通手段はありますか。</p>	<p>①いじめの定義が変わって、言葉をかけられた子どもが不快に感じればいじめになり件数は増えています。しかし、本市では深刻な事案はありません。</p> <p>②～⑥不登校は全国的な問題で、大変深刻な課題です。不登校は未然防止が重要で、初期対応が大切です。学校の大小に関係なく不登校児童生徒はいます。一人ひとりに応じたきめ細かな対応が大事です。また、理由は様々あり、学校だけでは解決できない課題もありますので、関係機関と連携した対応が必要です。学校に行きにくくなった子どもが学習する場として教育支援センターを設置しています。子どもが充電して学校に行けるような工夫もしています。不登校を生まない学校づくりが基本です。未然防止に取り組み、不登校になる前から一人ひとりを支えていける学校にしていくことに取り組みます。学校では、R2年度から校務支援システムを導入し、子ども一人ひとりの登校状況が分かり、それを先生が情報共有しています。そうしたものを活用し、教職員全員で注意をし、支援することも行っています。別室登校の子どもは、市で教育支援員を雇用して対応しており、先生だけの荷重にならないようにしています。</p> <p>⑦教育支援センターへの通所は、現在、保護者をお願いしています。</p>
9	<p>通学路の安全対策について</p> <p>①朝ヶ丘中学校の入口は、現在でも交通量が多く入口が狭い。統合により通学者が増えて、スクールバスも出入りすると、道路改修や交通事故対策が必要である。</p> <p>②多小坂の県道入口付近への信号機設置について、保育園統合時に協議されたが、ぜひ再検討をお願いしたい。</p> <p>③自転車通学に危険な歩道等、通学路の整備してほしい。(大間本町コンビニ付近の県道・坂ノ川線など)</p> <p>④自転車通学となると街灯がなくて暗い。</p>	<p>①通学路の安全対策について、道路や歩道の改修は、その道路を所管する県や国と協議し対応していただく必要があるため、できるだけ要望に応えられるようお願いしていきます。「統合準備委員会」などで各地域ごとの課題を出していただいて対応について検討していきます。</p> <p>②信号機の設置は、現在も警察署が時間設定の対応をしてくれていますので、再協議をしたいと考えています。</p> <p>③～④早急に対応が困難な事案については、毎年、通学路の合同点検を関係機関と実施していますので、引き続き改善を要望していきます。</p>
10	<p>統合後の取り組み内容について</p> <p>①統合計画で示している統合後の「取り組み内容」について ・統合に関係なく取り組むべきだと思う ・保護者負担は発生しますか。</p> <p>②統合後の「取り組み内容」をもっと充実させて、こんな中学校があるから須崎に移住したいという人が増えるような学校にしてもらいたい。</p>	<p>①～②英語教育、ICT教育を授業で行うことは当然ですが、さらに強化するもので、通常の授業だけではなく、例えば保育園からALTを活用して英語に慣れ親しんでもらったり、「てくテックすさき」を活用したプログラミングの取り組みなどができればと考えています。義務教育での実施ですので費用は必要ありませんが、家庭でのWi-Fi環境の整備はお願いすることになります。学習指導要領をこえる内容については、負担を求める場合があります。</p>

須崎市小中学校統合計画説明会でいただいたご意見等 【要約版】

No.	意見等の概要	市の考え方
人口減少・少子化対策		
11	<p>①人口減少前提で統合を進めていますが、市として人口減少についてどう考えていますか。どのような取り組みをしていますか。</p> <p>②子どもが須崎に残れる、戻れるように企業誘致や起業支援の取り組みを強化して働く場の確保も考えてほしい。</p> <p>③須崎市総合計画の基本目標に、新しいを人流を作ると書かれており、令和6年度には150人_75家庭を受け入れるとある。矛盾を感じ、総合的に判断したという点が見えてこない。</p> <p>④津野町に若い人が流れているのは、教育・子育て支援が充実しているからだと思う。須崎市は若者定住対策や、須崎市の人口を増やしていく計画はあるか。人口が増えると交付金が増える。そうすると給食費に回す対策もできるのではないか。我々も考えるが、市でも考えてほしい。</p> <p>⑤子どもを増やすためには移住の取り組みを考える必要がある。行政が取り組まなければならない。住宅整備をすれば人口も増えると思う。</p>	<p>①全国で人口減少に歯止めがかからず、人口増は期待しにくい困難な状況ですの で、いかに減少を抑えていくのが重要と考えています。働く場の確保や子育て支 援の充実、移住の促進、地域自主組織づくりなどに取り組んでいます。</p> <p>②いろいろな取り組みを進めていますが、十分な成果が出ていないのが現状です。 ご指摘の点も踏まえながら、市政の最重要課題として取り組んでいきます。</p> <p>③将来に向かって必要な教育環境の整備という視点で、取り組んでいますのでご理 解ください。</p> <p>④市も具体的な取り組みを進めるよう検討しますので、ぜひ具体的な提案をお願い します。</p> <p>⑤須崎市だけの問題ではなく、ほとんどの自治体で若者の減少が深刻な問題となっ ております。取り組みをしており、なかなか成果につながっていません。ご意見も 参考に、引続き取り組みます。</p>
子どもへの配慮		
12	<p>①少人数から大人数となる環境変化への不安 ・人数の多い学校へ行きにくい子どももいる ・中学校から急に大人数になると心配なので小学校から学校同士の交流事業をして はどうか</p> <p>②統合時に受験生（中学校2・3年生）となる生徒へのフォロー ・影響が大きいので段階的に統合するなどの検討をしてはどうか ・受験に影響がないように配慮をお願いしたい</p>	<p>①環境の変化による子どもの負担を減らすために、早い段階から学校同士の交流事 業を進めるように取り組みます。</p> <p>②フォローは精神的、体力的な面など様々あります。今後、フォローについても、 「統合準備委員会」で、保護者・学校の意見を出していただいて、より良い案を設 定したいと考えていますので、ご協力をお願いします。</p>
教職員の配置について		
13	<p>①教員の配置について、現在2人体制ですが、統合後はより充実した配置ができま すか。</p> <p>②中学校が1校になると、市全体の教職員は減りますか。</p> <p>③1クラスの人数が多くなると先生の目が届きにくくなる。</p> <p>④今後生徒数が減少するのであれば、先生の配置基準に関して、県または須崎市で 独自に再検討する必要があるのではないか。</p>	<p>①学校が大きくなれば教職員も多くなるので充実できると思います。</p> <p>②市全体でみると中学校5校が1校になると確実に減ることは想定されます。</p> <p>③35人のクラスでしっかり見てくれる先生もたくさんいます。少ないから見れる、 ではなく、多くてもしっかり見れるのが先生である。</p> <p>④国、県の基準がありますので、独自での配置はできません。</p>

須崎市小中学校統合計画説明会でいただいたご意見等 【要約版】

No.	意見等の概要	市の考え方
14	<p>学校適正配置計画について</p>	<p>①平成26年度に学識経験者、教育関係者（学校関係者、小中学校PTA役員、地域住民代表者）で構成する「学校適正配置計画策定委員会」を設置して、数の基準を決めました。教育委員会はその際に、学校名を入れた統合計画を策定したいと考えていましたが、委員は地域の代表であることから「基準の数は示すが、その先は教育委員会の責任でやってほしい」と指摘があったため、その児童生徒数を基準に統合計画を決定したものです。</p> <p>②全地域ではありませんが、関係する方々の代表者や地域住民の団体代表者等に入っていました。</p> <p>③「学校適正配置計画」については、議会で説明し、内容も公表し、資料についても公開をしています。</p> <p>④そのとおりです。</p> <p>⑤会合は持っていませんが、無視をしたわけではなく、手引きの内容は承知していますので、保護者や住民の皆様の意見を聞くために説明会をしています。</p> <p>⑥「学校適正配置計画」策定時の根拠は、小学校では「複式学級にならない程度」です。複式学級になると、2学年を1人の先生が見て、先生が苦勞し、工夫して授業をしています。できれば単式学級にした方がいいのではないかと、ということ現場を見て感じています。</p>
	<p>①統合計画の基となる「学校適正配置計画」はどのように策定されたのですか。</p> <p>②策定委員の地域代表者は全地域から選出しましたか。選出根拠はありますか。</p> <p>③策定委員会での協議内容を市民は全く知りません。不透明だと思っています。</p> <p>④教育委員会が原案をある程度作ったうえで、策定委員に入ってもらったのですか。</p> <p>⑤「学校適正配置計画」の策定後に文部科学省より手引きが出されているが、会合を持ちましたか。持っていない場合は手引きを無視したのですか。</p> <p>⑥そこまで適正規模、学級数、生徒数にこだわるのであれば、教育委員会の考える根拠は何ですか。</p>	
15	<p>小中学校統合準備委員会について</p>	<p>①各保育園と各小中学校の保護者代表、各地域の住民代表、学校関係者で構成し、統合計画を進めていくために必要な事務作業や、決定すべき事項・課題（学校名、校歌、校章、制服、通学方法（スクールバス運行計画、自転車通学基準）、部活動など）について検討し整理をするための会です。</p> <p>②現時点ではそのような認識ではなく、統合を進めるために決めなければいけないことについて、ご意見をいただく会です。</p>
	<p>①「統合準備委員会」とは何ですか。 ・「統合」という言葉をのけて意見を聞く会にすればどうですか</p> <p>②「統合をする・しない」も含めて協議する会ですか。</p>	
16	<p>現在の朝ヶ丘中学校の状況について</p>	<p>①学校を見に来ていただく機会をお持ちいただきたいと思います。朝ヶ丘中学校の子どもたちも素晴らしい学校生活を送っていると自信を持っています。200人近くの生徒がいる集団ですので、当然様々な課題があり、不登校もあります。学力が高いかどうかは、全国的な課題ですが、学力の二極化が進んでいます。これは朝ヶ丘中学校だけではなく、どこの学校でも見られることです。</p>
	<p>①統合先の朝ヶ丘中学校はどのような学校ですか。 ・どんな教育課程があり取り組みや素晴らしい特色について知りたい ・朝ヶ丘中学校の学力の課題はないですか</p>	

須崎市小中学校統合計画説明会でいただいたご意見等 【要約版】

No.	意見等の概要	市の考え方
17	<p>統合計画の見直しを求める意見</p>	
	<p>○オンラインで他の学校と繋がりを持ち、授業・交流をしている小さな学校もあるので、それらも含め今統合なのか、何か手段はないのかを検討していけばどうか。 ○これまでに、たくさんの意見が出たと思うが、本当に統合計画の見直しに至る意見はなかったのか。このまま進めば行政不信が強まると思う。 ○矛盾の無い統合計画にしてもらわないと現状の統合計画では理解できない。 ○統合対象の学校は不幸なのか。その学校に通わせている保護者は不満なのか。 ○須崎市に住むことを否定する人も多くなると思う。これほど教育を否定する統合計画は受け入れられない。 ○統合計画に反対をしている人の立場に立って見直しについて考えてほしい。 ○先に小学校の統合をして、一定規模の環境に慣れた後、中学校に行く方が安定して行けるのではないか。 ○小中一貫校は学力が高いので、上分も浦ノ内も小中一貫校で残せばどうか。新莊川沿いに上分1校、海沿いに浦ノ内1校、街中に朝ヶ丘1校の3校にし、学校選択制にするような対応ができないか。 ○説明会で「検討する」とよく聞かすが、出された意見を市に持ち帰って、統合について見直しをするという考えはありますか。</p>	<p>○説明会では、賛成、反対、条件付きなど様々な意見をいただきました。必要な検討を加え、今回の計画としています。</p>
18	<p>統合計画の見直しを求める意見（パブリックコメントの対応）</p>	
	<p>○統合反対が大多数という結果をどう受け止めているか。 ○限られた期間と方法の中で、100以上の意見があり、その多くが反対意見であったが、民意が汲まれていない。形だけと受け止める。 ○小学校は見直してなぜ中学校は見直しをしないのか。 ○出された意見に対して、どういう風に子どもたちに学校教育を深めていくのか議論した内容について教えてほしい。数だけの説明はやめてほしい。</p>	<p>○パブリックコメントも踏まえて、統合計画案を見直し、計画としました。今後も丁寧な説明に努め、ご理解いただくよう取り組みます。</p>
19	<p>統合計画の見直しを求める意見（住民等の理解）</p>	
	<p>○文部科学省が「学校統合は地域住民の理解を得て進めよ」と通達を出している。 ○このままの統合計画で行くのであれば「住民の理解を得た」という題材でアンケートをしてはどうか。 ○統合前提に話すのではなく、計画を一旦取り下げて、学校の規模や在り方を話し合う機会を持ってもらいたい。 ○今の内容や進め方では、子どもや保護者、地域の人が捨てられている気がする。 ○子どもの声も聞き、本当に望んでいるのか調査をすればいい。 ○現教員の意見は聞いたのか。先生にとっても統合がいい形となれば生徒に還元されると思う。 ○学校現場では工夫をしていることもあるし、改善もという声もある。そんな声を聞かれていないのか。</p>	<p>○丁寧な説明に努め、ご理解をいただくよう努めます。</p>

須崎市小中学校統合計画説明会でいただいたご意見等 【要約版】

No.	意見等の概要	市の考え方
20	<p>統合計画の見直しを求める意見（中学校1校に対する意見）</p>	
	<p>○中学校を1校に統合する計画は（「驚いた」「反対です」） ○文部科学省の手引きに「無理な学校統合がみられたことから、地域住民の理解を得て行うよう努めること」と書かれており、これだけの反対意見が出ているので、中学校を1校に統合するのは見直していただきたい。 ○いじめや不登校などにより学校に行きづらくなった生徒の選択肢（転校先等）がなくなる。 ○新型コロナウイルス感染症の対策として、中学校を1校に統合すると感染リスクが高まるので、2校以上残して分散すべきではないか。 ○高知県内で1校に統合した学校は必ず荒れているので、そのような事がないようにしてほしい。 ○中学校が1校になると生徒数が増えて、先生の目が行き届かなくなる。 ○市役所は罪をかぶらないようにしている感じがする。教育は数だけではないことを力説しておきたい。各地域が中学校1校で承知するか。自分なら座り込みをしてでも反対する。</p>	<p>○統合することにより、問題が起きるのではないかとこの心配は、一定理解できますので、そうしたことが起きないように十分な対策を講じます。</p>
21	<p>統合計画の見直しを求める意見（小規模校を残してほしい）</p>	
	<p>○タブレットを活用すれば、どんなに山奥でも世界中と繋がることができるので、小さな学校でもたくさんの中で学べるのではないか。 ○少人数で、先生が一人ひとりのニーズに応えることで自己肯定感を育てていける。1校を少人数学校として残すことにメリットはあると思う。 ○少人数校で、作文の最優秀賞を取ったり絵の大賞を取る子どもがたくさんいる。小さな学校だからこそ先生の目がよりいき届くのではないか。 ○小規模校の良さは、地域の人と子どもの関わりが深いことである。子どもは、思春期には親ではなく地域の人に話をして気持ちも開放される。 ○複式学級は学力が低いのか。教育環境が良くないのか。 ○複式学級は高知県に小学校190校のうち73校、中学校108校のうち52校ある。複式には複式の良さがある。この計画は現状を否定している。現場も同じ考えか。 ○小さい学校であれば、英語教育では子ども一人ひとりが声を発する機会も多くなる。より会話の場面も増える。ICTを使って隣同士で資料交換もできる。部活動も連合チームで成績を残せる。工夫次第でやっていける。 ○文部科学省が「ICTは小規模校を残す時に活用しなさい」と書いている。「特に複式学級のデメリットに活用しなさい」と言われている。学校の状況や地域の取り組み、デメリットだけでなくメリットを基にして配慮しなさいという文部科学省の方針に従ってもう少し配慮して考えてほしい。</p>	<p>○小規模は小規模なりの良さもあり、課題もあります。複式学級についても同様です。教員配置等を考えても、一定の規模があることが児童生徒の学習にはメリットがあると考えています。</p>

須崎市小中学校統合計画説明会でいただいたご意見等 【要約版】

No.	意見等の概要	市の考え方
22	<p>統合計画の見直しを求める意見（地元の学校を残してほしい）</p> <p>○共通事項 ・地域に学校が無くなると（地域が寂れる。子どもの地元愛が薄れる。地域と子どもとの関りが薄れる。） ・大人も子どもも地元で根差した深い交流関係がある ・これまで子どもと地域と一緒にしていた学校での行事ができなくなる</p> <p>○上分中学校 ・津波の心配がない ・統合すると浸水区域を通ることになり危険である ・通学が徒歩や自転車からスクールバスになると教育環境の悪化につながる ・新荘と安和から来れば一定の規模になるので存続できるのではないか ・新荘川のほとりで学ぶ9年間は新荘川愛や郷土愛を育むすごくいい環境だと思ふ</p> <p>○須崎中学校の存続 ・津波の来ない高台に新築してはどうか ・須崎小学校は空き教室が多いので須崎中学校を移して小中一貫校にしてはどうか ・「学校適正配置計画」の基準は満たしているので津波対策をして残して欲しい</p> <p>○浦ノ内中学校 ・通学が一番遠い地域のため子どもの負担にならないようにしてほしい</p> <p>○安和小学校 ・地域と保護者ともに統合計画見直しの意思を伝えている ・安和住民9割が要望書も出している ・行政任せにせず地域住民が努力して様々な取り組みを進めている</p> <p>○南小学校の存続 ・子どもたちが将来大人になって帰ってくる場合に、学校がないと子育てができない。保育園も無くなり、小学校まで無くなると、地域から出て生活しないと子育てができなくなり、余計に少子化が進むのではないか。</p>	<p>○それぞれの地域に、学校に対する愛着があり、ご支援いただいていることは十分理解しています。基本的には、学校適正配置計画の基準とする児童生徒数をもとに統合の必要性を判断していきます。</p>
23	<p>その他</p> <p>①中学生が毎年30～40人減っているのは、市外への進学ですか。</p> <p>②教育、人格形成以外に学校の持つ役割は何ですか。</p> <p>③パブリックコメントの個別意見をなぜ公表しないのですか。</p> <p>④思い切った統合計画、せっかくやるなら「学びやすい」「教えやすい」統合校にして生徒・先生・須崎市にとって良いものにしていきたいですね。</p> <p>⑤須崎市はパブリックコメントを受けて小学校の統合計画を見直した点は、住民の意見を聞いて決めようとしているので評価する。</p>	<p>①市外への進学は平均15%程度です。</p> <p>②ソサエティ5.0という時代が来た時、学ぶことも変わってきます。人格は道徳教育や人権教育など非常に大事な教育がたくさんあります。それは不変のものです。子どもたちを取り巻く環境が変わっています。産業が変わっていますので、学びも変わっていると説明をさせていただきました。</p> <p>③パブリックコメントは個別意見を公表しない事として募集しました。統合は大きな問題で意見も様々あると思いますが、個人が特定されると書きにくい方もいると思われるので、個別意見は公表していません。概要については公表しています。</p> <p>④～⑤意見として聞きました。</p>